

故郷のために 日本のために 守りたいのは『安心・安全』です！

①暮らしの『安心・安全』

《デフレ脱却と地方経済の活性化》

デフレ脱却なくして景気回復なしだとムダなバラマキはもうウンザリ。今こそ

- ①学校の耐震化や避難タワーなどの防災対策、老朽化した橋や道路のメンテナンスなど、必要な公共事業は前倒しで進めます。
- ②過疎地に起業する会社や、工場を新設する企業には法人税を減免します。
- ③中小企業が海外へ進出する足がかりにODA予算を拡充します。

②エネルギーの『安心・安全』

《浜松・湖西からエネルギー転換のモデル都市に！》

私にとって10年間生活したドイツは第二の故郷。ドイツの先進事例を研究し脱原発に取り組みます。また、メガソーラーの誘致や、メタンハイドレート掘削、石油を作る藻類の研究など、新エネルギーの開発を進めます。

③こどもの『安心・安全』

《子育て世代を応援します》

こどもが増えなければ日本の未来はありません。義務教育の無償化や保育施設への支援を通して子育て世代を応援します。

④ふるさとの『安心・安全』

《日本人の心を守る》

豊かな自然環境は私たちの暮らしの根源です。また、そこで営まれる農林水産業を振興することは、食の安全を守ると同時に地域の伝統文化やコミュニティを守ります。

⑤日本の『安心・安全』

《外交交渉力が最も大事》

近年、日本の領土、領海が近隣諸国に脅かされています。外交官の経験を活かし、毅然とした外交で日本の主張を国際社会に知らしめます。国の主権と国民の生命、財産を守ることは国会議員の使命です。

⑥政治の『安心・安全』

《まずは自民党を変える！》

外から見ていたからこそ分かる自民党の欠点があります。過去を真摯に反省し、本当の国民政党、責任政党に生まれ変わるよう、恐れず意見し身を粉にして働きます。城内みのるはこれからも国家国民のため信念を貫きます。



城内みのるプロフィール

『国益と国民の生活を守る』—今後もぶれずに信念を貫きます！

昭和40年4月19日生
 (本籍:浜松市中区上浅田2-5-31 旧城内商店)
 平成元年 3月 東京大学教養学部国際関係論分科卒業
 4月 外務省に入省
 平成2年 6月 在ドイツ日本国大使館勤務
 平成9年 3月 ドイツ語通訳官(天皇陛下、総理大臣の通訳に従事)
 平成10年 9月 総理府国際平和協力隊員として、ボスニアで選挙監視に従事
 その後、総合外交政策局、アジア大洋州局、欧州局に勤務
 平成14年11月 外務省を退官し、公職に応募
 平成15年11月 第43回衆議院議員総選挙当選(無所属)
 11月 衆議院文部科学委員会委員、決算行政監視委員会委員、自由民主党国会対策委員

平成16年 1月 自由民主党遊説局長
 7月 自由民主党改革実行本部幹事
 平成17年 1月 農林水産委員会委員、環境委員会委員、郵政民営化特別委員会委員
 9月 第44回衆議院議員総選挙にて748票差で惜敗(無所属)
 平成18年 4月 拓殖大学客員教授
 平成21年 8月 第45回衆議院議員総選挙にて自由民主党候補に約7万5000票差、民主党候補に約6万6000票差で当選(無所属、平沼グループ)
 9月 平沼赳夫先生、小泉龍司先生と無所属院内会派「国益と国民の生活を守る会」結成
 9月 衆議院法務委員会委員、文部科学委員会委員(平成23年12月に辞任)
 平成23年12月 院内会派「自由民主党 無所属の会」合流
 平成24年 5月 自由民主党に復党

現在、衆議院法務委員会理事、自由民主党外交部会長代理、内閣部会副部長、国際局長、中央政治大学院東海ブロック担当副院長、2期。



予算委員会より



久留木木柵田にて稲刈り



ダライ・ラマ法王自らカターを



天竜 大井平のお宮にて



ドイツでメルケル首相と